

内部選考を行う奨学金について(第13回)

掲 載 日:2021年7月30日(金) ~ 申込締切日:2021年8月11日(水)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
一般社団法人ひよこ奨学財団	<p>〈課 程〉 学士 〈学 年〉 4年 〈学部/研究科〉 薬学部・理学部・工学部・農学部 〈国籍等〉 不問 〈その他〉 (1) 大学で自然科学や環境技術等の分野を学んでいる者。 (2) 他の給付型奨学金制度との併給可だが、受給していない者を選考で優遇する。</p> <p>※給付期間終了時に成績証明書及び生活状況報告書を財団に提出義務あり。</p> <p>〈支給期間〉令和3年4月から令和4年3月まで</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p>	給付	30,000円	1

内部選考を行う奨学金について(第12回)

掲 載 日:2021年7月21日(水) ~ 申込締切日:2021年8月17日(火)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
JEES・三菱商事科学技術学生奨学金	<p>〈課 程〉 博士 〈学 年〉 博士後期課程 〈学部/研究科〉 理系分野を専攻する者(医学部・薬学部を除く) 〈国籍等〉 日本国籍を有するもの 〈その他〉 (1) 成績が優れ、心身健康であり、品行方正で経済的援助を必要とする者。 (2) 将来、研究能力または高度の専門性を要する職業などに必要な高度な能力を備え、活動できる者。 (3) 協会の実施する他の奨学金を受給せず、他の団体から受ける奨学金等の合計が年額600,000円(月額50,000円)以下である者。(貸与型を除く) (4) 本奨学生に採用された場合、受給終了期間まで本奨学金を辞退し他の奨学金を受給することはできない。</p> <p>※ 毎年度末、学習・研究状況を成績証明書とともに財団に報告義務あり。</p> <p>〈支給期間〉令和3年4月から令和4年3月まで</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p>	給付	100,000円	5

内部選考を行う奨学金について(第11回) ※終了しました

掲 載 日:2021年5月24日(月) ~ 申込締切日:2021年5月31日(月)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
			給付	24,000円	
公益財団法人 鴻池奨学財団	<p>〈課 程〉 学部、院 〈学 年〉 2022年3月卒業(修了)予定者(各課程最終学年の者) 〈学部/研究科〉 不問 〈国籍等〉 不問 〈その他〉 (1) 学力優秀、志操堅固、身体健康で、学資の支弁が困難な者。 (2) 内部選考に通過した場合に、6月18日までに健康診断書を必ず提出できる者。 (3) 大学からの推薦を受け、財団から採用された場合に、10日以内に連帯保証人と連署した誓約書を提出できる者。 (4) 申請者の年齢制限はありません。</p> <p>※ 毎年度末、学業成績や生活状況について財団理事長宛に報告書を提出する義務あり。 ※ 学内保健センター発行の「健康診断結果証明書」は、定期健康診断受診から発行まで約3週間要します。 健康診断書は、民間医療機関等で受診し発行されたものでもかまいません。</p> <p>〈支給期間〉 ~ 正規の最短修業年限まで</p>	可	給付	24,000円	1

内部選考を行う奨学金について(第10回) ※終了しました

掲 載 日:2021年4月16日(金) ~ 申込締切日:2021年5月10日(月)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金額		推薦人数
公益財団法人 浦上奨学会 (新型コロナ特別)	<p> <課 程> 学部 <学 年> 不問(6年制学科を含む) <学 部> 不問 <その他> (1)広島県出身者 (2)コロナ禍により、親の収入および本人のアルバイト収入等による世帯収入が大幅に減少し、 経済的に修学が困難な者 (3)学業、人物とも優秀で心身ともに健康である者 </p> <p> ※本奨学金の申請者は、内部選考用の出願書類とあわせて下記書類も提出すること。 給与所得者の場合)減収前の給与明細1か月分と、減収後の給与明細1か月分 給与所得者以外の場合)減収前の帳簿1か月分と、減収後の帳簿1か月分 失業者の場合)雇用保険被保険者離職票または雇用保険受給資格者証 </p> <p>※支給は今年度限り</p>	可 ※修学支援新制度 の給付奨学金・授業 料減免ともに併給可	給付	年一括 30万	1

内部選考を行う奨学金について(第9回) ※終了しました

掲 載 日:2021年4月13日(火) ~ 申込締切日:2021年5月7日(金)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
			貸与	給与	
公益財団法人 小堀雄久学生等支援 会(春期採用分)	<p>〈課 程〉 学部、修士 〈学 年〉 不問 〈学 部〉 理学部、工学部、農学部、薬学部 〈研究科〉 理学系研究科、工学系研究科、情報理工学系研究科、農学生命科学研究科、薬学系研究科、新領域創成科学研究科 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1)成績優秀で向学心に富み、品行方正である者。 (2)保護者(主たる家計支持者1名分)の年間収入が、税込1000万円以下であること。</p> <p>※奨学生に採用された場合、ゆうちょ銀行の口座にのみ振り込みます。 ※返還は貸与が終了した月から起算し1年の猶予後、貸与期間の2倍以内の期間に完了しなければならない。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(学部の受給者で修士課程に進学する者は、所定手続きを経て継続受給可)</p>	可	貸与	40,000円	2
一般財団法人 関育英奨学会	<p>〈課 程〉 学部 〈学 年〉 3-4年 〈学 部〉 不問 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1)人物・学業とも優秀かつ健康でありながら、学資の支弁が困難と認められる者。</p> <p>※返還は貸与が終了した月の翌月から12ヶ月経過後、20年以内で完了。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p>	可	貸与	30,000円	若干名
公益財団法人 川村育英会	<p>〈課 程〉 修士 〈学 年〉 1年 〈研究科〉 指定なし。化学、応用化学、化学工学などの化学系、および機械、電気電子工学系を専攻していること。 〈国籍等〉 指定なし 〈その他〉 (1)父母及び生計を一にする家族の年間収入(祖父母の年金収入を除く)が500万円以下である者。 (2)学部4年間の成績証明書における80点以上の成績評価の割合が全体の50%以上である者。 (3)採用された場合、2021年8月28日(土)に都内で行われる財団の授与式に出席できる者。</p> <p>〈支給期間〉2021年8月～修士課程修了迄。但し、留年・休学等の期間は支給停止。</p>	可	給与	60,000円	1

<p>公益財団法人 日揮・実吉奨学会</p>	<p>〈課程〉 学部、修士、博士 〈学部〉 医学部、工学部、理学部、農学部、教養学部、薬学部 〈研究科〉 医学系研究科、工学系研究科、情報理工学系研究科、理学系研究科、農学生命科学研究科、総合文化研究科、薬学系研究科、数理科学研究科、新領域創成科学研究科、学際情報学府 〈学年〉 学部3、4年生、修士及び博士は学年不問 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1)理工系学科または専攻に所属する者。 (2)2021年4月1日時点で年齢が30歳未満である者。 (3)人物・学力に優れ、健康であり、経済的に奨学金が必要である者。 (4)過去に日揮・実吉奨学会から奨学金の給付を受けた者は申請不可。 (5)日本学術振興会特別研究員採用者は申請不可。</p> <p>※“理工系”には、工学・理工学・理学・水産学・農学・獣医学・医学・歯学・薬学などを含みます。 ※採用者は、10～12月に財団担当者との面談が予定されています。</p> <p>〈支給期間〉 1年間(年一括)</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募不可</p>	<p>給与</p>	<p>年額 300,000円</p>	<p>6</p>
<p>公益財団法人 岩垂奨学会</p>	<p>〈課程〉 修士、博士、専門職 〈学年〉 不問 〈研究科〉 ・理学系研究科、工学系研究科、医学系研究科、薬学系研究科に所属の者 ・情報理工学系研究科、新領域創成科学研究科、総合文化研究科で研究分野が理・工・医・薬学分野のいずれかに該当する者 ・学際情報学府で研究分野が理・工学分野のいずれかに該当する者 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1)学力優秀者(目安:学部でのGPAが2.3以上) (2)健康、志操堅固で学資支弁の困難な者。</p> <p>※本奨学会の選考は成績を重視。 ※現所属課程で留年している者は申請不可。 ※10月入学等により今年度途中修了者は申請不可。 ※受給は修士課程の間に1回、博士課程の間に1回ずつ可能。 ※採用者は、研究交流会(11月開催予定)の参加義務あり。 ※採用者は、学年末(1月頃)に研究経過報告書及び生活状況報告書の提出義務あり。 ※本奨学会の内部選考申請者は内部選考の際に学部1年次～直近の成績証明書を提出すること。 修士課程や博士課程分の成績証明書を既に内部選考用として提出している場合は、追加で必要な課程分の証明書を提出すること。希望団体選択票のみ、または希望団体選択票と成績証明書の2点のみを提出する場合、奨学厚生課宛にメールで提出いただいてもかまいません。 ※希望団体選択票に、自らの研究分野が「理・工・医・薬」のどの分野にあてはまるのかを明記して提出すること。 記載のない場合は、申請無効となる可能性あり。</p> <p>〈支給期間〉 2021年度1年間</p>	<p>可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募可</p>	<p>給付</p>	<p>年額 約55万円</p> <p>支給額確定は8月頃。上記額からの増減可能性あり。</p> <p>(参考) 前年度実績 年55万 -内訳- 9月25万 11月20万 1月10万</p>	<p>理6 工6 医3 薬3</p>

内部選考を行う奨学金について(第8回) ※終了しました

掲 載 日:2021年4月7日(水) ~ 申込締切日:2021年4月16日(金)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
公益財団法人 井上育英会	<p>〈課 程〉 学部 〈学 年〉 3年生以上 〈学 部〉 指定なし 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1) 学業成績優秀、心身健全であって、将来国家社会の枢要な役割を担うことができる資質と意欲を持つ者。 (2) 内部選考を通過した場合に6月5日に実施される財団の面接選考に出席できる者。</p> <p>※採用された場合、毎月第一水曜日に財団事務局に出向き奨学金を受領する。 ※卒業(貸与の終了)の翌月から起算して25年以内に返済。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p>	可	貸与	自宅 30,000円 自宅外 35,000円	2
一般財団法人 野間文化財団	<p>〈課 程〉 修士、専門職(2年制課程のみ) 〈研究科〉 指定なし 〈学 年〉 1年 〈国籍等〉 国籍不問 〈その他〉 (1) 人格高潔、志操堅固、学業成績優秀、身体強健で、家庭の資力が乏しい者。 (2) 内部選考を通過した場合に6月3日または4日に実施される財団の面接選考に出席できる者。</p> <p>※内部選考を通過した場合に、専攻分野(研究テーマ)についての1,000字の論文提出あり。 ※奨学金は3、6、9、12月の指定日に財団事務局から手渡し。給付日には同年度の奨学生間で近況報告会。</p> <p>〈支給期間〉1年生の6月～2年生の3月まで(修士課程卒業までの22ヶ月間)</p>	可	給与	30,000円	2

内部選考を行う奨学金について(第7回) ※終了しました

掲 載 日:2021年4月5日(月) ~ 申込締切日:2021年4月15日(木)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
公益財団法人 アイザワ記念育英財団	<p>〈課 程〉 修士、博士（専門職を除く） 〈研究科〉 不問 〈学 年〉 不問 〈国籍等〉 日本国籍を有すること。永住者定住者は対象外。 〈その他〉 (1) 人物、学業ともに優れている者。 (2) 経済的理由により修学が困難であると認められる者。 (3) 将来、産業・文化両面において社会に貢献しようと志す者。 (4) <u>10月2日(土)に開催される財団式典に必ず出席できる者。</u> (5) 年数回のレポート提出等を期限厳守にて対応できる者。</p> <p>※留学を予定している場合は申請対象外となります。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p>	<p>不可</p> <p>※但し、日本学生支援機構の貸与型奨学金は併給可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募不可</p>	給与	45,000円	1
公益財団法人 春秋育英会	<p>〈課 程〉 学部、修士（専門職を除く） 〈学部/研究科〉 指定なし 〈学 年〉 学部3、4年生、修士は学年不問 〈国籍等〉 日本在住の保証人が得られる者。 〈その他〉 (1) 心身健全、学力優秀であり、経済的理由により修学困難である者。 (2) 学部生は修了時の年齢が26歳を超えない者。修士生は修了時の年齢が30歳を超えない者。 (3) 保護者の年収が800万円以下である者。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p> <p>※2020年度まで給与(月2万)+貸与(月1万)の併用型でしたが、2021年度採用者より全額給与型となります。</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料免除ともに併給可</p>	給与	30,000円	学部1 修士1
公益財団法人 味の素奨学会	<p>〈課 程〉 学部、修士、博士 〈学部/研究科〉 化学をはじめとする理系全般の各学部・研究科 〈学 年〉 学部3、4年、修士及び博士は学年不問 〈国籍等〉 日本国籍の者、または永住者 〈その他〉 学業人物ともに優秀で、旺盛な勉学意欲を有し、かつ経済的援助を必要とする者。</p> <p>※学部生は特にご注意ください→内部選考に通過したあと、財団への提出書類として指導教官による推薦書の作成が必要。内部選考に通過した場合、推薦書を教員に作成いただける者のみ申請すること。 ※返還:貸与終了月の翌月から起算して6ヶ月経過後、貸与期間の5倍以内の期間(最高15年限度)を定めて、全額返還。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料免除ともに併給可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募可</p>	貸与	学部 自宅 30,000円 自宅外 35,000円 大学院 自宅 40,000円 自宅外 45,000円	1

内部選考を行う奨学金について(第6回) ※終了しました

掲 載 日:2021年4月2日(金) ~ 申込締切日:2021年4月9日(金)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
公益財団法人 マース奨学財団	<p> 〈課程〉学部 〈学部〉不問 〈学年〉3-4年 〈国籍等〉日本国籍を有すること。 〈その他〉(1)品行方正、志操堅固、健康である者。 (2)学士が豊かでない者。 (2)成績優秀である者。(1年次から2020年度末までの取得単位にて優以上の割合が全体の6割以上) (3)奨学金支給期間中に留学による休学を予定していないこと。 大学のカリキュラムによる留学や交換留学等の単位が取得できる留学は可。 </p> <p> ※内部選考に通過した場合、2週間弱の期間で、指導教員など本学教員による推薦書(A4一枚)の作成が必要になります。教員に推薦書を書いていただくことが可能な学部生のみ、申請してください。 </p> <p> 〈支給期間〉2021年4月から1年間 </p>	不可 ※但し、大学独自の奨学金、日本学生支援機構奨学金は可 ※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可	給与	50,000円	1

内部選考を行う奨学金について(第5回) ※終了しました

掲 載 日:2021年3月26日(金) ~ 申込締切日:2021年4月8日(木)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
公益財団法人 三菱UFJ信託奨学財 団	<p>〈課 程〉 修士、博士、専門職 〈研究科〉 法学政治学研究科、経済学研究科、工学系研究科、理学系研究科、新領域創成科学研究科、情報理工学系研究科、農学生命科学研究科、学際情報学府、公共政策大学院 〈学 年〉 指定なし 〈国籍等〉 日本人学生(永住者・定住者も対象に含む。) 〈その他〉 (1) 財団主催行事(財団職員との個別面談や交流会等)への出席を優先できる者。 (2) 2021年4月1日現在、満33歳以下である者。 (3) 最短修業年限までの給費期間が1年以上見込まれる者。 (4) 心身ともに健康で、学業成績、人物ともに優れている者。 (5) 将来、民間企業・官公庁・学校等に勤務して、産業・文化面で活動し社会に貢献しようとする者。またはこれらの活動に関連する学術の研究を志す者。 (6) 学費の支弁が困難と認められる者。 (父母の税込年収合計800万円未満。ただし、就学中の兄弟姉妹が本人を含め3人以上の場合、税込年収1千万円未満を目処とする。) (7) 社会人学生は募集の対象外。 (8) 採用後、三菱UFJ信託銀行(本店)に本人が普通預金口座を開設できる者。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限迄 (院生でその過程が修士及び博士課程に分かれている場合、最短修業年限は各課程の修業年限となる。)</p>	可 ※但し、他の奨学金と併給する場合は要届出 ※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可 ※日本学術振興会特別研究員採用者の申請はご遠慮ください。	給与	55,000円	3
JEES・出光興産(生産技術)奨学金 【採用率:極めて低い】	<p>〈課 程〉 修士 〈研究科〉 工学系の各研究科 〈分 野〉 流体・電熱工学、粉体工学、流動シミュレーション等のプロセス技術分野 あるいは、機械工学、電気電子工学、システム制御工学等の機電分野 〈学 年〉 1年 〈国籍等〉 日本国籍を有する者あるいは永住者 〈その他〉(1) 修学目的が明確で、支援の効果が期待できる者。 (2) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。</p> <p>※1 本奨学金の申請中に他の奨学金の受給が決定した場合、大学を通じて協会へ届け出が必要です。 ※2 採用者は、毎年度末の学習研究状況報告のほか、卒業時には進路について協会へ報告が必要です。 ※3 採用となった場合、インターンシップ(2021年9月上旬実施予定、1週間程度)や、交流会(2022年2月実施予定)への参加義務や、アンケート等への回答義務があります。 ※4 採用となった場合、他の奨学金の受給を理由に本奨学金を辞退することができません。←今後の奨学金受給予定などを十分検討した上で申請してください。</p> <p>〈支給期間〉～在籍課程の修了まで</p>	不可 ※但し、貸与型は可。 (要確認) 左記※1,4	給与	80,000円	1

<p>公益信託 日新製糖奨学育英基金</p>	<p>〈課程〉 学部 〈学部〉 医学部、工学部、理学部、農学部、教養学部(理工学分野に限る)、薬学部 〈学年〉 4年制学科の3,4年生、6年制学科の5,6年生 〈国籍等〉 指定なし(留学生を除く) 〈その他〉 (1)東京都内に居住する者 (2)学業・人物ともに優秀かつ健康な者 (3)経済的事情により修学の継続が困難と認められる者</p> <p>※奨学生に採用となった場合、7月上旬開催予定の「贈呈式」「生活指導・激励のための懇親会」に必ず出席すること。 ※内部選考に通過した場合、指導教官に推薦書(量はA4サイズの半分ほど)を作成いただく必要があります。推薦所見を書いていただける指導教員のいる者のみ申請してください。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p>	<p>望ましくない</p>	<p>給与</p>	<p>30,000円</p>	<p>1</p>
<p>公益財団法人 ナカベ 中部奨学会</p>	<p>〈課程〉 博士 〈学年〉 不問 〈研究科〉 不問 〈国籍等〉 不問(永住者、定住者を含む) 〈その他〉 人物・学業ともに特に優れ、健康にして経済的理由(日本学生支援機構第二種を目安とする)により著しく修学が困難な者</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募可</p>	<p>給与</p>	<p>60,000円</p>	<p>1</p>
<p>公益信託 岩井久雄記念 東京奨学育英基金</p>	<p>〈課程〉 学部、修士、博士 〈学部〉 工学部、理学部、農学部(生命科学分野に限る)、教養学部(理工学分野に限る) 〈研究科〉 工学系研究科、情報理工学系研究科、理学系研究科、農学生命科学研究科(生命科学分野に限る)、総合文化研究科(理工学分野に限る)、新領域創成科学研究科、学際情報学府(理工学分野に限る) 〈学年〉 学部3年、修士1年、博士1年 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1)理工学分野で学ぶ者。 (2)将来は日本の指導者の一人として国の発展の為に尽くそうとの志を持つ者。 (3)学業、人物ともに優秀であり、かつ健康である者。 (4)学費の支払いが容易ではない者</p> <p>※本奨学会の選考は成績を重視しており、倍率も高くなっております。 ※内部選考に通過した場合、指導教官に推薦書(量はA4サイズの半分ほど)を作成いただく必要があります。推薦所見を書いていただける指導教員のいる者のみ申請してください。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p> <p>※学部1年次の国際科学オリンピック金メダル獲得者は別枠にて推薦することがございます。 支給期間は最長2年間。学部3年次以降も受給希望の場合は3年進級時に再申請が必要です。 希望者は教養学部等学生支援課奨学資金チームへお問い合わせください。</p>	<p>不可</p> <p>※但し、貸与型奨学金は可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金は併給不可、授業料減免は併給可。</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募不可</p>	<p>給与</p>	<p>学部 100,000円 院 120,000円</p>	<p>学部1 修士2 博士2</p>

<p>公益財団法人 川本・森奨学財団</p>	<p>〈課 程〉 修士、専門職 〈研究科〉 不問 〈学 年〉 1-2年 〈国籍等〉 不問 〈その他〉 (1)学業優秀、品行方正である者。 (2)経済的理由により、学費の支弁が困難である者。 (3)財団が主催する行事に出席できる者。(奨学生研修会を11-12月に年1回開催予定)</p> <p>※社会人経験者は応募不可です。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(最長2年間) ※専門職で正規の最短修業年限が3年の場合も支給は1-2年生の間のみ。</p>	<p>可</p>	<p>給与</p>	<p>30,000円</p>	<p>1</p>
----------------------------	--	----------	-----------	----------------	----------

内部選考を行う奨学金について(第4回) ※終了しました

掲 載 日:2021年3月15日(月) ~ 申込締切日:2021年4月2日(金)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額	推薦人数
公益財団法人 みずほ育英会	<p> <課 程> 学部、修士、専門職、博士 <学部/研究科>指定なし <学 年> 学部3年生以上、院は学年不問 <国籍等> 日本国籍を有する者(永住者、定住者は申請不可) <その他> (1)資質並びに学業成績優秀で且つ健康な学生であること。 (2)経済的理由により学資の援助を必要とする者。 </p> <p> ※奨学金は毎月上旬に財団事務局にて直接交付。 ※内部選考を通過した場合、財団の面接が予定されています。 ※返済は、貸与が終了した月の翌月から起算して6ヶ月を経過した後、20年以内に返済のことし、利息はつけない。 </p> <p> <支給期間>~正規の最短修業年限迄 </p>	不可 ※但し、日本学生支援機構、学内奨学金は可 ※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可 ※日本学術振興会特別研究員採用者の応募可	貸与 学部 50,000円 院 60,000円	2
公益財団法人 北野生涯教育振興会 (ライフシフト奨学金)	<p> <課 程> 修士 (専門職課程は対象外) <研究科> 不問 <学 年> 修士1年 <国籍等> 日本国籍を有する者 <その他> (1) 社会人として就労経験が通算3年以上ある、2021年4月1日において45歳以下の者。 (2) 心身ともに優れている者。 (3) 給与収入世帯の場合:世帯合計収入1000万円未満 給与収入以外の世帯:自営業などその他収入500万円未満 (4) 年1回の奨学生交流会へ必ず参加できる者 </p> <p> ※本奨学金は、現時点で社会人として就労している方、もしくは過去に一定期間、就労していた実績がある方が対象です。企業、団体、機関、国または地方自治体などへの就労期間が3年以上、個人事業主として3年以上の実績がある方を対象としています。(いずれも通算可) ※内部選考に通過した場合、財団への出願書類として指導教員による推薦書(A4一枚)の提出が必要です。指導教員に作成いただける方のみ申請してください。 ※学部2年生向けに同内容の募集を行います。詳細は教養学部の民間奨学金担当へお問い合わせください。 https://www.c.u-tokyo.ac.jp/campuslife/scholarship/koekihojin/index.html </p> <p> <支給期間> 修士課程の2年間(奨学生修了者が博士課程に進学する場合、審査を経て博士課程まで通算5年間) </p>	不可 ※但し、日本学生支援機構および大学独自の奨学金、授業料免除制度との併給は可能。	給与 60,000円	1

<p>公益財団法人 同盟育成会 (古野給付奨学金)</p>	<p>〈課程〉学部(4年制課程)、修士、専門職(法曹養成専攻を除く) 〈学年〉2021年4月学部3年進級者または修士1年進学者 〈学部/研究科〉不問 〈国籍等〉不問。留学生は国際支援課にて取り扱いがあります。希望者は国際支援課へご確認ください。 〈その他〉(1)ジャーナリストあるいはジャーナリズム研究者を目指し勉学に励んでいる者。 (2)志操堅固、健康優良、学業成績優秀な者。 (学部は学部1,2年次、修士は学部3,4年次における成績にて、優相当以上が5割以上) (3)学費の援助が必要と認められる者。</p> <p>※学内選考通過者は、指導教員作成の「推薦書」(A4一枚)のほか、学部生は財団指定テーマに沿った作文、院生は研究テーマに関するレポート提出あり。 (学部生は特にご確認ください→本学教員に推薦書を書いていただける学生のみ出願してください。)</p> <p>※学部:毎年2回1,000字程度の作文提出あり。 修士:毎年2回1,000字程度のレポート提出(最終回は論文要旨提出)あり。 共通:毎年1回奨学金活用アンケートあり。年数回奨学生研修会あり。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(最長2年間)</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p>	<p>給与</p>	<p>学部 40,000円</p> <p>院 60,000円</p>	<p>学部 2</p> <p>院 2</p>
<p>公益信託 化学研究者育成MC 奨学基金(予約型)</p> <p>【採用率:低い】</p>	<p>〈課程/学年〉2022年4月に博士課程に進学予定の2021年4月時点修士2年生 〈研究科〉理学系研究科 〈国籍等〉日本国籍を有する者 〈その他〉・化学を専攻する者。 ・学業人物ともに優秀である者。 ・わが国の基礎化学の発展の担い手となり得る人材で経済的理由により修学が困難な状況にある者。</p> <p>※奨学生は、生活状況報告書や成績証明書等の提出義務あり。 ※博士課程1年次に進学後、支給がはじまります。</p> <p>〈支給期間〉奨学生となった年の4月～博士課程修業年限の終期まで(3年間)</p>	<p>可</p>	<p>給与</p>	<p>50,000円</p>	<p>1</p>

内部選考を行う奨学金について(第3回) ※終了しました

掲 載 日:2021年3月11日(木) ~ 申込締切日:2021年4月1日(木)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
公益財団法人 中山報恩会	<p>〈課 程〉 学部、修士、専門職 〈学部/研究科〉 不問 〈学 年〉 学部3年、修士1年、専門職1年 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉(1) 家計支持者の収入・所得金額が1,000万円以下の者。 (2) 学部生は23歳以下であること。修士、専門職の学生は25歳以下であること。 (3) 大学院生の場合、大学での3年以上の留年がある者、および大学卒業または退学後2年以上社会人となり大学院に再入学した者は応募不可。</p> <p>※本学の推薦者となった学生には、5月下旬～6月上旬に財団から面接選考あり。 ※奨学金は年4回に分割して手渡しで交付。 ※貸与修了年度の翌年度から起算して奨学金の貸与を受けた月数の3倍に相当する期間内に返還。返還期間の上限は14年。 ※奨学生になった場合、修士・博士課程進学後も支給継続を希望する者に対し、進学前に選考を行い予約採用とする制度あり。但し、日本学術振興会特別研究員との併給は不可。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(専門職3年間課程の場合、最大3年間支給)</p>	民間奨学金は併給不可 日本学生支援機構・地方公共団体の奨学金は併給可 ※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可	給与 + 貸与	学部 給2.5万円 + 貸1.7万円 院 給3万円 + 貸2万円	学部1 修士5
公益財団法人 日本証券奨学財団	<p>〈課 程〉 修士、博士、専門職 〈研究科〉 不問 〈学 年〉 1年 〈国籍等〉 不問 〈その他〉(1)「<u>将来社会の各分野において指導的役割を担う志</u>」のある資質優秀な者。 (3) 2021年4月1日現在、修士・専門職学位課程で25歳以下の者、または博士課程で28歳以下の者。 (3) 他の奨学金を受給予定・応募予定でない者。 (4) 内部選考を通過し推薦者となった場合に 5月20日午後に都内で実施予定の財団の面接選考に出席できる者。 (5) 下記の財団が実施する各種行事に必ず出席できる者。 (7月9日奨学金授与式、10月上旬懇談会、10～12月開催奨学生の集い、修了年度3月上中旬修了式) (6) 受給終了後、奨学生出身者を会員とする証券奨学同友会に加入し、勤務先や居所変更の報告を欠かさず行うことができる者。</p> <p>※内部選考に通過した場合、短期間(2週間弱)で財団提出用書類をご用意いただくこととなります。指導教員の先生に作成いただく推薦所見等も財団提出用書類に含まれますので予めご了承ください。 ※推薦者に対し財団は面接選考による厳格な審査を行います。 ※学業及び研究遂行以外の目的での奨学金の使用は許されません。(自宅外通学者は1万円を上限に住宅費に充当可能)</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限迄</p>	不可 ※但し、日本学生支援機構の貸与型奨学金は併給可 ※他の奨学金を受給予定または応募予定の者は応募できません。	給与	自宅外 55,000円 自宅 45,000円 ※通学区分変更時は奨学金額の見直しあり。	1

<p>公益財団法人 日鉄鉱業奨学会</p>	<p>〈課程〉 学部 〈学部〉 不問 〈学年〉 3年生以上(6年制の学部学科所属の者を対象に含む) 〈国籍等〉 日本国籍を有する者。 〈その他〉 (1) 学資負担者(家計支持者)の税込年間収入(×年間所得)が1,400万未満である者。 (2) 学術優秀、品行方正、心身健康で、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者。</p> <p>※貸与奨学金の貸与が終了したときから、6ヶ月間据置きのと、貸与期間の2倍の期間を限度として返還。</p> <p>〈支給期間〉 ~正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p>	<p>貸与</p>	<p>選択制</p> <p>30,000円 または 15,000円</p>	<p>4</p>
<p>公益財団法人 昭和奨学会</p>	<p>〈課程〉 学部 〈学部〉 不問。但し、工学部を除く。工学部所属の希望者は、工学部の奨学金担当へ確認すること。 〈学年〉 3年 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1) 成績優秀者 (2) 学部卒業と同時に、社会の第一線で活躍せんとする者。 但し、修士課程修学希望者は、その間手続きの上、返還猶予する。 (3) 2021年4月1日現在22歳以下の者。</p> <p>〈支給期間〉 ~正規修業年限</p> <p>※返還は、貸与終了月より起算して6ヶ月を経過した後、15ヶ月以内に月賦もしくは半年賦にて行う。</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p>	<p>貸与</p>	<p>30,000円</p>	<p>1</p>
<p>公益財団法人 旭硝子財団</p>	<p>〈課程〉 修士、博士(専門職を除く) 〈研究科〉 不問(但し、医学、薬学、獣医学分野を除く) 〈学年〉 1年 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1) 品行方正、学術に優れ、健康であり、学資の支援が必要と認められる者。 (2) 独自の発想に基づき、社会に有用で波及効果も高い研究テーマに意欲的に取り組む者。 (3) 持続可能な社会の実現に向けて取り組む意欲が高い者。 (4) 2021年7月20日(火)に開催予定の奨学金授与式に必ず参加できる者。</p> <p>※現在取り組んでいる研究テーマが、必ずしも直接「持続可能な社会の実現」を目指していない場合も出願できるが、そのような活動の実績や今後の研究活動に向けての豊富を選考時に重視する。 ※社会人学生は原則応募不可。但し、学生の身分を保有したまま、大学などから報酬を受ける場合は実働時間及び報酬額によって応募可否が変わるため、希望する場合要確認。 ※審査は書類選考のみとなります。 ※2020年秋入学で2021年4月現在第1学年の者も応募可。但し、2021年4月以前に遡及した支給はしない。</p> <p>〈支給期間〉 2021年4月~正規の修学期間迄(修士は最大2年間、博士は最大3年間)</p>	<p>可</p> <p>※但し、博士課程のみ他機関の月12万円以上の給付型奨学金等との併給不可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募不可</p>	<p>給与</p>	<p>修士 75,000円</p> <p>博士 100,000円</p>	<p>修士 人文系 1 自然系 1</p> <p>博士 人文系 1 自然系 1</p>

<p>公益財団法人 オーディオテクニカ 奨学会</p>	<p>〈課程〉 学部、修士、専門職 〈学部/研究科〉 理工学分野の各学部・研究科 〈学年〉 学部3-4年、修士(専門職)1-2年 〈国籍等〉 不問。但し日本語で読み書きできる者。 〈その他〉 (1) 健康でかつ学業成績が優秀であり、経済的理由により学費の支弁が困難な者。 (2) 内部選考に通過した場合、6月8日(火)に文京区内で実施される財団の面接に必ず出席できる者。 (3) 採用された場合、財団の主催する奨学生生活状況報告会(5月)、奨学生の集い(9月12日)に必ず出席できる者。 (4) 採用された場合、ゆうちょ銀行口座を用意できる者。</p> <p>※内部選考に通過した場合、短期間(2週間弱)で財団提出用書類をご用意いただくこととなります。指導教員の先生に作成いただく推薦所見等も財団提出用書類に含ましますので予めご了承ください。</p> <p>〈支給期間〉 ~ 正規の最短修業年限まで</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料免除ともに併給可</p>	<p>給与</p>	<p>20,000円</p>	<p>1</p>
<p>公益財団法人 新日本奨学会</p>	<p>〈課程〉 修士 〈研究科〉 理学系研究科、農学生命科学研究科、工学系研究科、情報理工学系研究科、新領域創成科学研究科、総合文化研究科、人文社会系研究科、経済学研究科 〈学年〉 修士1年 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈その他〉 (1) 学業成績、人物ともに優秀かつ健康な者。 (2) 学業の継続において学資の支弁が困難な者。 (3) 内部選考を通過した場合、5月22日(土)に実施予定の財団による面接に必ず出席できる者。</p> <p>※本奨学会の選考は成績を重視します。(目安:優の割合が8割以上) ※財団主催行事への参加や報告書提出義務あり。</p> <p>〈支給期間〉 1年間。但し、継続審査により修士2年生まで継続支給可</p>	<p>可</p>	<p>給与</p>	<p>58,000円</p>	<p>6</p>
<p>公益財団法人 石井記念証券研究 振興財団</p>	<p>〈課程〉 学部 〈学部〉 法学部、経済学部 〈学年〉 3年 〈国籍等〉 不問 〈その他〉 (1) 金融、証券市場に関心を有する資質優秀な者。 法学部生: 会社法や金融商品取引法等の資本市場法に関する専門科目履修者 経済学部生: 金融・証券分野に関わる専門科目履修者 (2) 学業成績・人物ともに優秀な者。 (3) 将来社会の発展に貢献し得る能力をもち、かつ証券関係分野での活躍を期待される者。</p> <p>※内部選考に通過し本学の推薦者となった場合は、財団による書類審査及び面接選考あり。 ※採用された場合、財団の行事等は必ず出席するよう心がけ、万が一欠席する場合は事前にその理由を申し出ること。</p> <p>〈支給期間〉 原則2年間。但し、3年次の学業成績により1年間で給付を中止する場合がある。</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p>	<p>給与</p>	<p>40,000円</p>	<p>1</p>

<p>公益財団法人 G-7奨学財団</p>	<p>〈課程〉学部、修士、博士、専門職 〈学部／研究科〉不問 〈学年〉学部は3年生以上、大学院は学年不問 〈国籍等〉日本国籍を有すること。 〈その他〉(1) 学業優秀 (GPA3.1以上を目安とする) で、心身ともに健康であり、将来社会的に有益な活動を目指す者。 (2) 学資の援助が必要であると認められる者。</p> <p>※半年毎に生活状況や奨学金使用状況の報告義務あり。 ※半年毎に成績証明書や在学証明書の提出義務あり。 ※財団が出席を求める各種行事(新旧奨学生交流会)への参加義務あり。 ※財団にて書類選考後、面接選考を予定。面接選考の交通費は申請者負担です。 面接概要(WEB/対面の別、実施場所)は財団から開示されていません。(参考:財団住所は兵庫県神戸市です。) ※申請者となった場合、申請者の個人情報は以下の目的に利用されます。 ・奨学金助成事業の審査及び審査に係る事務連絡、通知等 ・審査後、採択後の事務連絡 ・財団が開催するセミナー等の案内、及び財団が実施する助成事業の募集案内の連絡</p> <p>〈支給期間〉2021年4月～2022年3月(財団の募集要項より原文のまま抜粋) 翌年度以降、年度開始の時点において、当初選考時基準と同等の学力基準及び家計基準を引き続き満たす場合は、在学期間中に限り、標準修業年限を上限に、翌年度以降も単年度ごとに継続して助成します。継続して助成を希望される場合には、再度申請書を提出していただきます。翌年度以降において単年度の助成条件は変更になる可能性があります。)</p> <p>※2021年度の4月～3月の1年間を通じて、東京大学に確実に在学していることが申請条件です。 休学、退学、留学、留年等の学籍異動を予定されている学生は申請をご遠慮ください。 <u>秋入学者は申請いただけません。</u></p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員採用者の応募可</p>	<p>給与</p>	<p>最大 100,000円</p> <p>※申請書類の内容により半額以下に減額となる可能性あり。前年度は、本学の採用者の半数以上が減額となりました。</p>	<p>若干名</p>
---------------------------	--	--	-----------	---	------------

内部選考を行う奨学金について(第2回) ※終了しました

掲 載 日:2021年2月25日(木) ~ 申込締切日:2021年3月30日(火)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額		推薦人数
			給与	年額	
公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団 (日清食品・安藤百福Scholarship)	<p>〈課 程〉 修士、博士 〈学 年〉 不問 〈研究科〉 不問 〈国籍等〉 日本国籍を有する者 〈分 野〉 食科学に関連する研究を行う者 〈その他〉 (1) 学業、人物ともに優秀かつ健康で、学資等の経済的支援を必要としている者。 (2) 就学及び生活状況を財団に毎月報告、年度末に財団指定の書類提出ができる者。 (3) 留学予定者は応募不可</p> <p>〈支給期間〉 2021年4月～2022年3月の1年間 (6月末36万円、以降毎月末に翌月分8万円を支給。)</p>	可 ※日本学術振興会特別研究員採用者の申請可。	給与	年額 100万円	5
公益財団法人 住友電工グループ 社会貢献基金	<p>〈課 程〉 修士(専門職を除く) 〈研究科〉 理工系 〈学 年〉 1年 〈国籍等〉 日本国籍の者、特別永住者、永住者、定住者、日本人の配偶者(外国籍)、永住者の配偶者(外国籍)いずれも可。 〈その他〉 学業、人物ともに優れながら経済的理由により援助が必要と認められる者。</p> <p>※内部選考を通過し、大学より推薦した者に対し、2021年5月以降に財団による面接選考あり。 ※奨学金給付中、研究内容の報告会や交流会等実施予定あり。</p> <p>〈支給期間〉 2021年4月～2023年3月までの2年間(但し、2023年3月以前に修士課程修了の場合は～修了月まで)</p>	不可 ※但し、貸与型は可	給与	30,000円	1
公益財団法人 浦上奨学会	<p>〈課 程〉 修士、博士 〈学 年〉 上記課程に2021年4月に入学する者 〈研究科〉 不問 〈国籍等〉 広島県出身者 〈その他〉(1) 経済的支援を必要とする者。(日本学生支援機構第一種奨学金を目安とする) (2) 学業、人物とも優秀で心身ともに健康な者。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで</p> <p>※本財団は、2020年度募集まで貸与型での募集でしたが、2021年度募集より給付型が新設されました。</p>	貸与型は可 給付型は不可 ※但し、当会以外の海外留学奨学金は併給可。	給与	40,000円	1

<p>公益財団法人 フジシール財団</p>	<p>〈課程/学年〉学部3年、修士1年 〈学部/研究科〉不問 〈分野〉パッケージ関連分野を専攻する者 (化学、機械、電気電子、パッケージデザイン、リベラルアーツ、マーケティングなど) 〈国籍等〉日本国籍の学生。 ほかに、留学生の推薦枠について国際支援課にて募集を行います。 希望者は所属研究科の留学生担当、または国際支援課へお問い合わせください。 〈その他〉(1) 向学心に富み、学業優秀であり、かつ、品行方正である者。 (2) 商品パッケージの研究開発に興味・関心のある者。 (3) チャレンジ精神が旺盛で国際感覚を持つ者。</p> <p>※内部選考に通過した場合、パッケージに係るA4用紙2枚のレポート提出が必要になります。 ※奨学生は2021年7月実施予定の認定式や、2022年2月実施予定の研修会への出席義務があるほか、年4回程度のレポートや制作物の提出義務があります。</p> <p>〈支給期間〉奨学生採用～正規の最短修業年限まで ※但し、各学年の進級時に応募資格に沿ってレポート提出による適性審査を行い、継続可否を決定する。</p>	<p>貸与型は可 給付型は不可</p> <p>※但し、修学支援新制度の給付奨学金は可。授業料減免も可。</p>	<p>給与</p>	<p>学部 50,000円</p> <p>修士 60,000円</p>	<p>学部 1</p> <p>修士 1</p>
<p>公益財団法人 戸部真紀財団</p>	<p>〈課程〉学部、修士、博士（専門職を除く） 〈学年〉学部3年生以上、大学院生の学年不問 〈学部・研究科〉不問 〈国籍等〉日本国籍または同等の権利(永住者・日本人の配偶者・永住者の配偶者・定住者等)を有する者 〈分野〉化学、食品科学、芸術学、デザイン学、体育学、スポーツ科学、経営学 〈その他〉(1) 学資の支弁が困難であり、経済的支援を必要としている者。 (2) 個性豊かでユニークな発想を持ち、将来に期待の持てる者。 (3) 目的意識、研究の課題が明確である者。 (4) 奨学金を得ることで学業や研究により一層の深化、発展が期待される者。 (5) 向学心に富み、学業優秀(優相当以上が全体の6割以上)であり、且つ、品行方正である者。 (6) 2021年4月1日現在で30歳以下の者。 (7) 標準修業年限での卒業が2022年3月以降の者。 (8) 8月29日(日)～30日(月)の1泊2日で開催予定の奨学生交流会に必ず出席できる者。 (開催は感染症の影響により変更する可能性あり)</p> <p>〈支給期間〉2021年4月～2022年3月</p> <p>※希望者は希望団体選択票の欄外に、出願条件〈分野〉に記載のどの学問分野に該当するかを明記すること。 <u>明記されていない場合、希望団体票における本奨学金の選択は無効となります。</u> <u>内部選考に通過した場合、財団提出用書類として当該分野に係る作文あり。</u> <u>上記分野における目的意識が明確な者のみ申請を受け付けます。</u> ※内部選考に通過した場合、指導教員による推薦書(財団指定様式、A4一枚)の作成が必要。作成いただける者のみ申請すること。 ※支給期間終了後、審査を実施し、1年間を限度に継続を認める場合あり。 ※過去に当財団の奨学生であった者は応募不可。</p> <p>〈併給条件〉 ・他の給付型支援金を併給する場合は、支給額が半額となる可能性あり。 ・他の奨学金との併給を認めていない奨学金を申請している者(既に受給中の者)は応募不可。 ・大学独自奨学金、日本学生支援機構の新制度給付奨学金、授業料等減免は併給制限に該当しません。応募可能。 ・日本学術振興会特別研究員の採用者は応募不可。(当財団が別途行っている公募型では特別研究員採用者の応募可。)</p>	<p>可</p> <p>※左欄の併給条件より詳細を確認すること。</p>	<p>給与</p>	<p>50,000円</p>	<p>2</p>

<p>公益信託 松尾金藏記念奨学基金</p> <p>【採用率: やや低い】</p>	<p>〈課程〉 修士, 博士 〈研究科〉 法・経済を除く人文社会系の研究科(学府含む) 〈分野〉 文学、哲学(宗教学、美学、美術史を含む)、言語学、人文地理学、文化人類学、教育学、心理学、社会学、史学等 〈学年〉 修士1年、博士1年 〈国籍等〉 留学生を除く。 一般入試受験により入学している者であれば、日本国籍を持つ者、永住者、定住者等いずれも対象。 〈その他〉 (1) 修士課程: 家族の生計を支える者の前年度年収が原則800万円(税込総収入)以下。 博士課程: 本人の前年度年収が原則250万(税込総収入)以下。 (2) 品行方正、健康で学業成績が優秀な者。 (3) 2021年4月1日時点の年齢が30歳以下の者。</p> <p>※採用された場合、研究助成金等の併給が不可となる場合があります。 ※推薦者の採否通知時期は例年6月下旬です。松尾金藏記念奨学基金(以下、当基金)は、他の奨学金との併願は可能ですが、併給は不可です。当基金の採用により他の奨学金を辞退する者が先に他の奨学金の支給を受けていた場合、当基金の支給と重複する期間(本年4月～採用決定時点まで)の受給額を、採用通知から数週間以内に支給元へ全額一括返還する必要があります。(他の奨学金の返金証明書等の提出が当基金の支給開始条件となります。)ご注意ください。 ※給付は6月と11月に各6ヶ月分を振込。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(但し、毎年度継続審査あり。次年度以降の給付は審査結果による。)</p>	<p>不可</p> <p>※不可には日本学生支援機構の貸与型も含む。</p> <p>※左欄の「※」3点目もよくご確認ください。</p>	<p>給与</p>	<p>年額 100万円</p>	<p>修士 1 博士 1</p>
<p>公益財団法人 尚志社 (一般)</p>	<p>〈課程〉 修士、博士、6年制課程の学部 (専門職は除く) 〈学部/研究科〉 不問 〈学年〉 修士または博士1年、学部4または5年 〈国籍等〉 日本人 〈その他〉 (1) 学部・修士の場合は所属学部学科の上位10%以内の成績。 博士の場合は大学および大学院における成績が特に優れていること。 (2) 2021年4月2日時点で学部4年生は26歳未満、学部5年生は27歳未満、 修士1年生は30歳未満、博士1年生は35歳未満であること。 (3) 内部選考に通過した場合に、6月19日にオンラインで行われる財団の面接選考会に必ず出席できること。 (4) 受給期間中、財団が定期的を実施する社友懇話会(年1回)に出席すること。 受給終了後も出来るだけ出席すること。 また、受給期間を通じて最低1回(原則として採用年に)、機関誌「尚志」に寄稿すること。 (5) 家計基準の目安は、日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準「収入・所得の上限額の目安」を上回らないこと。本人(配偶者含む)に定職収入がある場合はそれを含める。 家族の年収合計が1500万円を超える場合は、原則応募不可。 (6) 4月27日までに健康診断結果証明書の提出が可能な者。 (期日までに今年度分の提出が困難な場合は、4月27日までに昨年度実施分を提出し、6月16日までに今年度実施分を提出すること。)</p> <p>※社会人経験がある場合は採用順位が低くなります。また、一定の収入がある社会人大学院生は応募不可です。 ※内部選考に通過した場合、指導教員による推薦書の作成が必要です。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(最大3年間)</p> <p>※学部生で修学支援新制度(授業料減免および給付奨学金)に申し込んでいる場合は、当団体奨学金採用後、給付奨学金の停止手続きをすみやかに行うこと。当団体の奨学金は、給付奨学金の停止手続き完了後分より支給となります。</p>	<p>不可</p> <p>※但し、日本学生支援機構の貸与奨学金は可。</p> <p>※修学支援新制度採用者の場合、本奨学金支給には給付奨学金の停止が必要。</p> <p>※日本学術振興会の特別研究員や博士課程教育リーディングプログラム等は、併願可だが併給不可。</p>	<p>給与</p>	<p>[自宅] 学部4年 30,000円 学部5年 ・修士 40,000円 博士 50,000円</p> <p>[自宅外] 学部4年 50,000円 学部5年 ・修士 60,000円 博士 70,000円</p> <p>＋ 全学年 学校納付金 実費(上限 100万円)</p> <p>＋ 修士・博士 入学金実費 (上限30万 円)</p>	<p>1</p>

<p>公益財団法人 尚志社 (文系学部限定)</p>	<p>〈課程〉学部 〈学部〉文系学部 〈学年〉3年 〈国籍等〉日本人 〈その他〉(1) 所属学部学科の上位10%以内の成績。 (2) 2021年4月2日時点で25歳未満 (3) 内部選考に通過した場合に、<u>6月19日にオンラインで行われる財団の面接選考会に必ず出席できること。</u> (4) 受給期間中、財団が定期的実施する社友懇話会(年1回)に出席すること。 受給終了後も出来るだけ出席すること。 また、受給期間を通じて最低1回(原則として採用年に)、機関誌「尚志」に寄稿すること。 (5) 家計基準の目安は、日本学生支援機構第一種奨学金の家計基準「収入・所得の上限額の目安」を上回らないこと。本人(配偶者含む)に定職収入がある場合はそれを含める。 家族の年収合計が1500万円を超える場合は、原則応募不可。 (6) 4月27日までに健康診断結果証明書の提出が可能なる者。 (期日までに今年度分の提出が困難な場合は、4月27日までに昨年度実施分を提出し、6月16日までに今年度実施分を提出すること。)</p> <p>※社会人経験がある場合は採用順位が低くなります。また、一定の収入がある社会人大学院生は応募不可です。 ※内部選考に通過した場合、指導教員による推薦書の作成が必要です。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限まで(最大3年間)</p> <p>※修学支援新制度(授業料減免および給付奨学金)に申し込んでいる場合は、当団体奨学金採用後、給付奨学金の停止手続きをすみやかに行うこと。当団体の奨学金は、給付奨学金の停止手続き完了後分より支給となります。</p>	<p>不可</p> <p>※但し、日本学生支援機構の貸与奨学金は可。</p> <p>※修学支援新制度採用者の場合、本奨学金支給には給付奨学金の停止が必要。</p>	<p>給与</p>	<p>[自宅] 30,000円</p> <p>[自宅外] 50,000円</p> <p>+ 学校納付金 実費(上限 100万円)</p>	<p>1</p>
<p>公益財団法人 吉田育英会 マスター21 (予約採用)</p> <p>【採用率: やや低い】</p>	<p>〈課程〉学部 〈学年〉4年 〈研究科〉医学部、工学部、理学部、農学部、教養学部、薬学部 ※その他の学部所属で以下の条件を全て満たす希望者は、奨学厚生課へ個別にご相談ください。 〈国籍等〉日本国籍を有する者 〈分野〉自然科学系(上記研究科所属であっても当該分野以外は対象外) 〈その他〉(1) 2021年秋季または2022年春季に標準修業年限2年の修士課程入学希望者。 (2) 2021年4月1日時点で27歳未満の者。 (3) 求める人材・・・学業成績の優秀な者。大学院進学のための意識を明確に持つ者。成果の社会還元を志を有し、影響力を期待できる者。リーダーとしての資質を有する者。国際的に活躍することを目指す者。 (4) 2021年7月8,9日に財団側で実施予定のオンライン面接選考に出席可能な者。</p> <p>※修士課程での進学先は本学と異なる大学院でも構わないが、自然科学系分野を専攻する者であること。 ※学内選考を通過した場合、指導教官による推薦書等の提出が必要。作成いただける者のみ申請すること。 ※支給内容は右記奨学金額欄の(1)～(3)のとおり。 ※「学校納付金」には、入学金、授業料、施設費、実験研究費等の名目で大学に納付する費用を含む。 ※採用者が学校納付金受給を選択した場合、修士課程での入学料・授業料免除制度は受けられません。 ※「海外研究活動支援」は、海外で開催の国際学会参加、海外大学への短期留学、海外で実施の研修参加等を対象に、交通費、宿泊費、学会参加登録費等を補助。 ※右欄に記載の併給条件は2021年度内定者に適用されるものであり、2020年度以前の内定者には支給終期まで旧規定が適用されます。</p> <p>〈支給期間〉修士課程に入学した月から2年以内</p>	<p>奨学金実施団体により併給条件が異なる。</p> <p>〈民間団体〉 貸与型× 給付型×</p> <p>〈公的機関〉 貸与型○ 年間100万円以下の給付型○ 年間100万円越えの給付型×</p> <p>〈大学〉 貸与型○ 年間100万円以下の給付型○ 年間100万円越えの給付型×</p>	<p>給与</p>	<p>(1) 下記ア、イのいずれか</p> <p>ア. 月額8万</p> <p>イ. 学校納付金合計250万円以内の実費</p> <p>(2) 海外研究活動支援金 計50万円以内の実費</p>	<p>2</p>

内部選考を行う奨学金について(第1回) ※終了しました

掲 載 日:2021年2月22日(月) ~ 申込締切日:2021年3月25日(木)必着

申 込 先:東京大学本部奨学厚生課民間奨学金担当

奨学会名	出願条件等 ※特別な指定がない限り、学年は2021年4月1日時点のもの。	他奨学金との重複	奨学金月額	推薦人数
<p>公益財団法人 吉田育英会 ドクター21 (予約採用)</p> <p>【採用率:やや低い】</p>	<p>〈課 程〉修士 〈学 年〉2年 〈研究科〉医学系研究科、工学系研究科、情報理工学系研究科、理学系研究科、農学生命科学研究科、総合文化研究科、薬学系研究科、数理科学研究科、新領域創成科学研究科、学際情報学府 ※その他の研究科所属で以下の条件を全て満たす希望者は、奨学厚生課へ個別にご相談ください。</p> <p>〈国籍等〉日本国籍を有する者 〈分 野〉自然科学系(上記研究科所属であっても当該分野以外は対象外) 〈その他〉(1)2021年秋季または2022年春季に標準修業年限3年の博士課程入学(進学、編入学)希望者。 (2)2021年4月1日時点で30歳未満の者。 (3)求める人材…学術研究のレベルが高い者。博士課程の目的を達成できる者。成果の社会還元への志を有し、影響力を期待できる者。リーダーとしての資質を有する者。世界水準の研究者を目指す者。国際的に活躍することを目指す者。豊かな個性があり、研究内容に独創性が感じられる者。 (4)2021年6月3,4日に財団側で実施予定のオンライン面接(プレゼンテーション含む)選考に出席可能な者。</p> <p>※博士課程での進学先は本学と異なる大学院でも構わないが、自然科学系分野を専攻する者であること。 ※内部選考に通過した場合、短期間(4月初めの1週間程度)で財団提出書類(願書や論文要約のほか、学部1年次からの成績証明書、指導教官による自署押印の必要な推薦書等)をご用意いただくことになります。確実に対応可能な方のみ申請してください。 ※支給内容は右記奨学金額欄の(1)~(3)のとおり。 ※「学校納付金」には、入学金、授業料、施設費、実験研究費等の名目で大学に納付する費用を含む。また、学校納付金の枠内で、国内開催の学会に参加、発表する場合の学会参加費(合計40万まで)を支給。 ※採用者が学校納付金受給を選択した場合、博士課程での入学金・授業料免除制度は受けられません。 ※「海外研究活動支援」は、海外で開催の国際学会参加、海外大学への短期留学、海外で実施の研修参加等を対象に、交通費、宿泊費、学会参加登録費等を補助。 ※右欄に記載の併給条件は2021年度内定者に適用されるものであり、2020年度以前の内定者には支給終期まで旧規定が適用されます。</p> <p>〈支給期間〉博士課程入学(進学、編入学)した月から3年以内</p>	<p>奨学金実施団体により併給条件が異なる。</p> <p>〈民間団体〉 貸与型× 給付型×</p> <p>〈公的機関〉 貸与型○ 年間100万円以下の給付型○ 年間100万円越えの給付型×</p> <p>〈大 学〉 貸与型○ 年間100万円以下の給付型○ 年間100万円越えの給付型×</p> <p>※日本学術振興会特別研究員の併給不可。</p>	<p>給与</p> <p>(1) 月額 20万円</p> <p>(2) 学校納付金 計250万円 以内の実費</p> <p>(3) 海外研究活動 支援金 計100万円 以内の実費</p>	2

<p>公益財団法人 古河記念基金</p>	<p>〈課程〉学部、修士、専門職、博士 〈学年〉学部は3年以上、大学院は学年不問 〈学部〉工学部、理学部、農学部、教養学部、薬学部（6年制学科を除く） 〈研究科〉工学系研究科、情報理工学系研究科、理学系研究科、農学生命科学研究科、総合文化研究科、薬学系研究科、数理科学研究科、新領域創成科学研究科、学際情報学府（医学系および獣医学系学修者を除く） 〈分野〉<u>金属その他資源関係を学ぶ者。</u> 〈国籍等〉日本国籍の学生 〈その他〉(1)学業及び人物とも優秀かつ健康である者。 (2)卒業までの進級が十分見込める者。 (3)2020年の家計収入が税込900万円未満の者。（年金収入および兄弟の収入は算入しない。）</p> <p>※内部選考に通過した場合、<u>短期間(4月初めの数日間)で財団提出用書類(願書や小論文のほか、学部1年次からの成績証明書や家族の住民票、父母の収入証明書など)をご用意いただくこととなります。確実に対応可能な方のみ申請してください。</u> ※本学からの推薦者となった場合、財団による書類審査及び面接選考(4月下旬)あり。</p> <p>〈支給期間〉～正規の最短修業年限迄(最長6年)</p>	<p>可</p> <p>※修学支援新制度の給付奨学金・授業料減免ともに併給可</p> <p>※日本学術振興会特別研究員の併給可。</p>	<p>給与</p>	<p>自宅通学 30,000円</p> <p>自宅外通学 35,000円</p>	<p>1</p>
--------------------------	---	--	-----------	--	----------